

参加  
無料

トリエステの取組みから考える、精神医療の未来

# 強制的のない精神医療 を目指して ～ロベルト・メッツィーナ氏 来日講演～

イタリアのトリエステでは、フランコ・バザーリア氏を中心として、強制的な精神医療を廃止する先進的な取組みがなされてきました。本シンポジウムでは、バザーリア氏の愛弟子の1人として、バザーリア氏とともに取組みの中心的な役割を果たしてこられたロベルト・メッツィーナ氏をお招きし、その取組みの内容をお話しいただくとともに、トリエステの取組みから今後の日本の精神医療について考えます。

このイベントは、すべての方々が対象です。イタリアの精神医療の取組みや日本の精神医療の現状に関心がある方、ぜひご参加ください。共に学び、日本の精神医療の未来を一緒に考えましょう！

**2026年2月26日(木) 14:00～17:00**

現地 及び オンライン (ハイブリッド開催)

**会場：横浜情報文化センター 情文ホール**

横浜市中区日本大通11番地 横浜情報文化センター6階

アクセス：

みなとみらい線日本大通り駅 3番情文センター口 直結

JR関内駅南口・横浜市営地下鉄関内駅1番出口 徒歩10分

詳しくは下記Webサイトをご覧ください。オンライン参加の方は事前申込みが必要です（現地参加の方は事前申込み不要です）

<https://www.kanaben.or.jp/news/event/2025/post-668.html>

お問合せ 電話：045-211-7702

主催：神奈川県弁護士会 共催：日本弁護士連合会





# プログラム

## 1 基調講演（1時間30分程度）

ロベルト・メッツィーナ氏

講演テーマ（予定）：トリエステにおける精神医療改革の経過

## 2 パネルディスカッション（1時間程度）

ロベルト・メッツィーナ氏、越智祥太氏

\*社会福祉法人SKYかわさきの利用者様の登壇も予定しております。

ロベルト・  
メッツィーナ氏



精神科医、WHO精神保健国際協働ネットワーク代表、元トリエステ精神保健局長。

1978年にトリエステ・サンジョヴァンニ病院に赴任。同病院の脱施設化、病院に代わるコミュニティ・サービスの発展に尽力した。イタリア精神保健改革の先進的存在であり、イタリア全土の精神科病院を廃止し地域で支える医療を展開してきたフランコ・バザーリア氏の愛弟子の一人である。

2014年春、トリエステ精神保健局長に就任。バザーリア氏の「思想と実践」を引き継ぐ新リーダーに。2009年秋からWHO調査研修協働センター長として、世界中の「精神病院の脱施設化」、「精神病院に代わる地域密着型サービスの発展」を支援。これまでにデンマーク、チェコ共和国、オーストラリア、ニュージーランド等の精神保健改革をサポート。2001年から精神保健国際協働ネットワークの推進役として活動し、現在は代表を務めている。



越智祥太氏  
(おち さちひろ)

ことぶき共同診療所精神科医師。

横浜寿町や蒲田周辺などでの貧困者の地域医療に積極的に取り組む。救貧活動なども有志を集めて展開している、社会派医師である。精神保健・医療分野の社会モデル化を提唱し、従来の医療一辺倒の支援に疑問を投げかけ、新しい精神医療のあり方を提言している。

### 社会福祉法人SKYかわさき

社会福祉法人SKYかわさきは、1995年に市民団体として設立された。「精神しょうがいのある人が、自らの望む暮らしを実現するために人と人がつながりあえるまちづくり」を理念として、川崎市多摩区・麻生区を生活圏とする精神しょうがいのある人の社会参加をテーマとして活動している。

※情報保障については手話通訳及び要約筆記がございます。

